モデルカリキュラムと認定教育プログラム要素との関係（応用基礎コア）

モデルカリキュラム（応用基礎レベル）

学修内容

1. データサイエンス基礎
- 1-1. データ駆動型社会とデータサイエンス（☆）
- 1-2. 分析設計（☆）
- 1-3. データ観察
- 1-4. データ分析
- 1-5. データ可視化
- 1-6. 数学基礎（※）
- 1-7. アルゴリズム（※）

2. データエンジニアリング基礎
- 2-1. ビッグデータとデータエンジニアリング（☆）
- 2-2. データ表現（☆）
- 2-3. データ収集
- 2-4. データベース
- 2-5. データ加工
- 2-6. ITセキュリティ
- 2-7. プログラミング基礎（※）

3. AI基礎
- 3-1. AIの歴史と応用分野（☆）
- 3-2. AIと社会（☆）
- 3-3. 機械学習の基礎と展望（☆）
- 3-4. 深層学習の基礎と展望（☆）
- 3-5. 認識
- 3-6. 予測・判断
- 3-7. 言語・知識
- 3-8. 身体・運動
- 3-9. AIの構築と運用（☆）

教育方法
- AI・データサイエンス実践（演習や課題解決型学習）＜データ・AI活用 企画・実践・評価＞

認定教育プログラム（応用基礎レベル）要素

応用基礎コア

Ⅰ. データ表現とアルゴリズム
- 数学基礎（統計数理、線形代数、微分積分）
- アルゴリズム
- データ表現
- プログラミング基礎

Ⅱ. AI・データサイエンス基礎
- データサイエンス基礎
- 機械学習の基礎と展望
- 深層学習の基礎と展望

Ⅲ. AI・データサイエンス実践
- データエンジニアリング基礎
- データ・AI活用 企画・実践・評価